

The European Association for Banking and Financial History (EABH)

・社会経済史学会共催

「若手ワークショップパネル」のお知らせ

政治経済学・経済史学会では、若手研究者支援の一環として、2016年度に「座談会 母語以外での研究業績発信について」と題し、海外の学術雑誌に投稿経験のある会員から、若手に向けてそのノウハウを伝えていただく会を設けました。本年度は、そうした課題を引き継ぎ、若手研究者による国際的な発信を支援するため、*Financial History Review* の編集主幹を務める Stefano Battilossi 氏をお招きし、EABH・社会経済史学会との共催で、「若手ワークショップ」を設置します。このワークショップは、*Financial History Review* の第一次審査を兼ねるもので、報告者は投稿後に通常よりも迅速な審査を受けられるメリットがあります。若手会員各位の積極的な応募を期待します。

若手ワークショップ合同準備委員会

記

- 【日 時】 2018年10月20日(土) 09時00分～11時50分(予定)
- 【場 所】 一橋大学国立キャンパス ※詳細は決まり次第公告します
- 【ゲスト】 Stefano Battilossi (マドリード・カルロスⅢ世大学、Editor of *Financial History Review*)
- 【座 長】 矢後和彦 (早稲田大学、政治経済学・経済史学会理事代表)
- 【テーマ】 Challenging Topics in Banking and Financial History
- 【募集対象】 20-30代の金融史を専攻する若手研究者。
- 【応募方法】 政治経済学・経済史学会ホームページ(<http://seikeisi.ssoj.info/>)より、応募用紙をダウンロードの上、必要事項と報告要旨(300単語以内の英文)を記入し、7月8日(日)までにメールの添付ファイルで同学会事務局([seikeishi@gmail.com](mailto:seikeishi@gmail.com))宛にお送り下さい。なお、採否の結果は、合同準備委員会の審査を経て、7月下旬までに連絡いたします。
- 【備考】 (1) 報告と討論は英語で行われます。
- (2) 報告は1本20分で、講評と討論を20分で行う予定です。  
※時間は報告人数によって変動します。
- (3) 報告者は、政治経済学・経済史学会または社会経済史学会のいずれかの会員に限ります。
- (4) 当日は大会参加費(当日受付:一般4,500円、院生会員2,500円、20日・21日に開かれる他のセッションと共通)をお支払いいただきます。
- (5) 審査の都合上、*Financial History Review*の書式に従った草稿を9月30日(日)、報告用パワーポイント・ファイルを10月17日(水)までに事務局へご提出ください。同誌の書式は、下記URLよりご確認ください。  
<https://www.cambridge.org/core/journals/financial-history-review/information/instructions-contributors>

以上